

玉造教会ニュース

7月号

発行：玉造教会 評議会

編集：玉造教会 広報委員会

シャローム

〒540-0004

大阪府中央区玉造2-24-22

TEL 06-6941-2332

2016年7月3日 404号

FAX 06-6941-2605

ドキドキ夏休み（ちょっと気が早い??）

Sr. とくのまなみ

夏休み、と言うと、なんだかわくわく、ドキドキします。

夏休みは、教会にとっては、教会学校のキャンプや夏期お泊り会の時期でもあり、リーダーの方々は、いろいろと大変だと思います。大阪教区では「青年と子供の錬成会」が毎年開催され、たくさんの青年と子供が一つになって素晴らしい体験をするのは、よくご存じだと思います。毎年参加しているスタッフや子供たちは、一年たってまた懐かしい顔に会えた喜びで、ニコニコしますし、スタッフ同士で、いろいろ盛り上がったり、大変なのですが、たのしい行事だと思います。

また、日本の教会全体で、そして教区全体で、毎年「平和旬間」が開催されます。これは8月6日から15日までの10日間を特に平和な世界を築いてゆくために、わたしたちが何ができるかを考え、祈っていく期間だと思います。平和というのは、黙って、手をこまねいているだけでは決して与えられるものではありません。「愛する」「赦しあう」ことなしには得られないものです。そしてその愛すること、赦しあうことは、本当に自らの心と体を引き裂くような痛みを伴うことがあるのです。

「平和のために働く人は幸い」と聖書にある言葉を体験するのは、特にこの夏の暑い時期です。例えば広島に行くこと、たとえば長崎に巡礼すること、東北でボランティアをすること、そして、たとえば隣の人に心をかけ、親切にすること、あるいは、「コンチクショー」と思っている人と和解することなどによって、「平和のために働く」というのはいかがでしょうか？

南地区では、7月18日海の日、南地区一日研修会があり、8月13日（土）には平和祈願ミサもあります。おそらく、どちらも暑い日になるのではないかと思います。皆様の力と祈りで、「暑さ」を心の「熱さ」に変えてゆくことができるのではないのでしょうか？ この夏にも。たくさんのドキドキに出会うことができますように。

